

2025年度 業績説明会資料

2026年5月14日

ソニーフィナンシャルグループ株式会社

- 本日はご参加いただきありがとうございます。
- まず、ソニー生命に係る不正疑義事案及び一連の報道等について、多くの関係者の皆さまに大変なご心配をおかけしておりますことに対し、心よりお詫び申し上げます。
- ソニー生命及びソニーフィナンシャルグループでは、お客さま、株主、社会、さまざまなステークホルダーの皆さまからの信頼に応え支持されるべく、不正事案の未然防止・早期発見はもとより、真にお客さま本位と言える態勢の構築に向け、全力で取り組んでまいります。

注記

ソニーフィナンシャルグループ（以下「ソニーFG」）は、ソニーフィナンシャルグループ株式会社（以下「SFGI」）と、その傘下のソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」）、ソニー損害保険株式会社（以下「ソニー損保」）及びソニー銀行株式会社（以下「ソニー銀行」）、ソニーライフケア株式会社（以下「SLC」）、ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社（以下「SFV」）ならびにそれらの子会社及び関連会社から構成される金融サービスグループを指します。

SFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の業績（連結・単体）は、それぞれ日本の会計基準に準拠して作成しています。なお、本資料では、資本市場における国際的な財務情報の比較可能性の向上及びソニーFGが重視する長期視点での経営に適した経営指標を示す観点から、ソニーFG各社の国際財務報告基準（以下「IFRS会計基準」）にもとづく過去の業績及び将来の目標値を開示していますが、ソニーFGはこれらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。これらのIFRS会計基準にもとづく開示は、日本の会計基準に則って開示されるSFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。

本資料に掲載されている表示単位未満の数値や比率・増減率は、特に記載のない限り、四捨五入又は切り捨てで表示しています。

「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。その他、本資料に掲載されている会社名・商品名は、ソニーグループ株式会社又はソニーFGの商標又は登録商標です。

本資料に記載している修正純利益は、一時的な損益の影響を含まないことから、事業の持続的な収益力を表すとともに、ソニーFGの投資とそのリターンを循環による中長期での事業拡大をマネジメントの観点から確認できると考えています。これらの経営指標は、IFRS会計基準及び日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーFGはこれらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。修正純利益は、日本の会計基準に則って開示されるSFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。

本資料に記載されている、ソニーFGの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通し又は試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーFGの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しにのみ全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーFGが将来の見通しや試算を見直し改訂するとは限りません。ソニーFGはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

2025年度 業績説明会 キーポイント

利益指標

グループ連結修正純利益*1

1,051億円

(前年度比+71%)

健全性

グループ連結ESR*2

177%

(前年度末比△12pt)

2026年度 配当見通し

1株当たり配当

8.0円

(前年度比+5%)

トピックス

- 2025年度のグループ連結修正純利益は、主に生命保険事業及び損害保険事業の増益により、前年度比+71%増の1,051億円
- 2026年度のグループ連結修正純利益見通しは、生命保険事業において横ばいであるものの、主に銀行事業及び損害保険事業の増益により、前年度比+5%増の1,100億円
- 2025年度末のグループ連結ESRは、前年度末から12ポイント低下し、177%
- 2026年度は中間・期末合計で一株当たり8.0円の配当を予定

*1：修正純利益はIFRS会計基準及び日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーFGは、この開示が投資家の皆様には有益な情報を提供すると考えています。修正純利益の算定式及び調整の詳細についてはP26-27を参照（次頁以降も同じ）

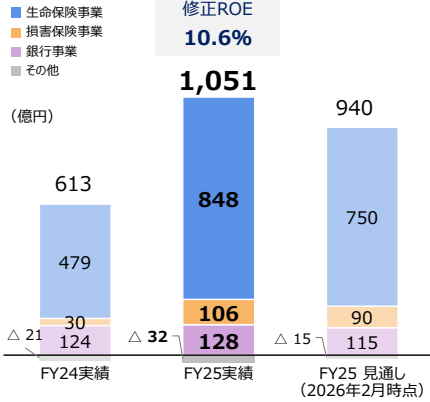
*2：ESRは、経済価値ベースのリスク量に対する経済価値資本の比率。ESRは大局的な経営判断に役立つことを目的に欧州ソルベンシーIIやICS、国内の経済価値ベースのソルベンシー規制等を参考に算出。

一部で簡易的な計算方法を採用しており、計算プロセス及び結果の妥当性に関しては、第三者の検証等は受けていないことに留意。割引率等の前提条件については2026年5月14日に開示される「2026年3月末「経済価値資本」とESRの開示」を参照（次頁以降も同じ）

- ・ 今回の決算のポイントはご覧のとおりです。

2025年度 グループ連結修正純利益実績 (IFRS会計基準ベース)

グループ連結修正純利益



修正ROE
10.6%

生命保険事業 848億円 (前年度比+368億円/+76.9%)

前年比

- (+) 税率変更の影響*1 +210
- (+) レボコストの減少等 +120
- (-) 損失要素の増加 △90
- (+) CSM償却額の増加等 +60

前回見通し比

- (+) 保険前提の見直しによる影響 +30
- (+) 税金費用の減少 +30

損害保険事業 106億円 (前年度比+76億円/+247.3%)

前年比

- (+) 火災保険における損失要素の減少等 +40
- (+) 自動車保険における増収効果 +10
- (+) 発生保険金の減少 +10

前回見通し比

- (+) 発生保険金の減少 +15

銀行事業 128億円 (前年度比+4億円/+3.5%)

前年比

- (+) 資金収支改善 +37
- (-) システム費用等営業経費の増加 △29

前回見通し比

- (+) 円業務における資金収支改善 +7

前年比

- (-) ソニー生命における財務基盤強化に向けた債券売却 (IFRS・J-GAAP)
- (+) ソニー生命における出再に伴う一時的な損益の計上 (J-GAAP)
- (-) ソニー生命におけるFY24の価格変動準備金戻入の剥落 (当期純利益 (J-GAAP))

(億円)	FY24	FY25
税引前利益 (IFRS)	1,305	△114
経常利益 (J-GAAP)	448	845
当期純利益 (J-GAAP)	787	554

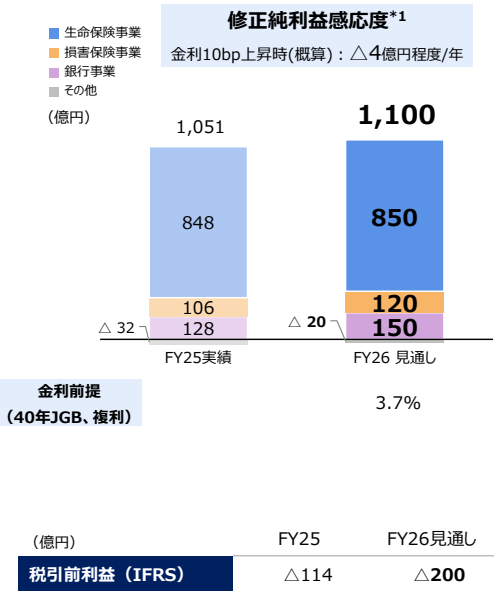
注1：内訳数値は概算値

*1：2024年度における防衛特別法人税導入に伴う影響の反動

- 2025年度のグループ連結修正純利益は前年度比71%増の1,051億円、同年度の修正ROEは10.6%となりました。
- 生命保険事業では、損失要素の増加はあったものの、2024年度における税率変更にもなう税効果影響の反動に加え、主にCSM償却額の増加とレボコストの減少により、修正純利益は77%増の848億円となりました。
- 損害保険事業では、自動車保険の増収効果や火災保険での損失要素の減少などにより、前年度から3.5倍の106億円となりました。
- 銀行事業では、営業経費の増加はあったものの、資金収支の改善などにより、4%増の128億円となりました。
- なお、日本会計基準における経常利益は、財務基盤強化に向けた債券売却の影響はあったものの、再保険取引による利益計上により前年度比88%増の845億円、当期純利益は、前年度の価格変動準備金戻入益の剥落などにより30%減の554億円となりました。

2026年度 グループ連結修正純利益見通し

グループ連結修正純利益



生命保険事業 850億円 (前年度比+2億円/+0.2%)

前年比

- (+) CSM償却額の増加等 +60
- (+) レボコストの減少等 +80
- (-) 損失要素の増加 △60
- (-) 税金費用の増加 △30

損害保険事業 120億円 (前年度比+14億円/+13.2%)

前年比

- (+) 事業費効率の向上 +15
- (+) 自動車保険における増収効果 +15
- (-) 発生保険金の増加 △20

銀行事業 150億円 (前年度比+22億円/+17.2%)

前年比

- (+) 円業務における資金収支改善 +35
- (+) 市場運用業務の収益増加 +30
- (-) システム費用等営業経費の増加 △40

前年比

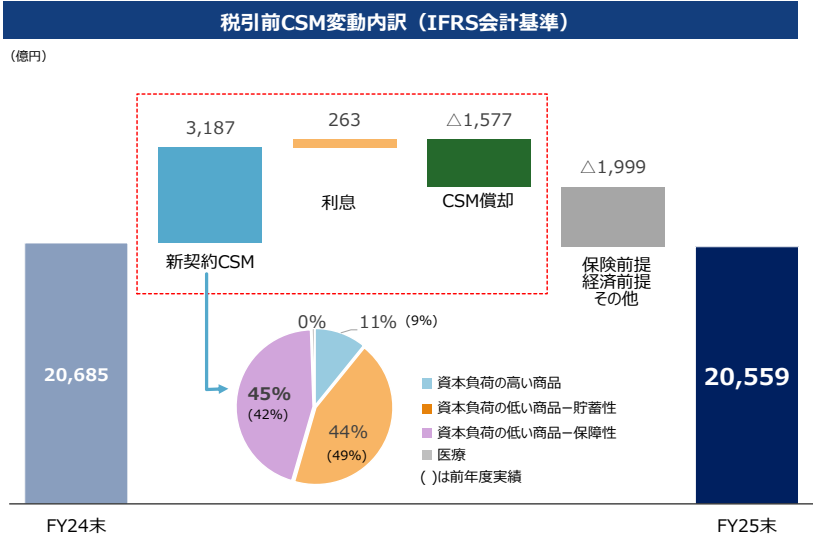
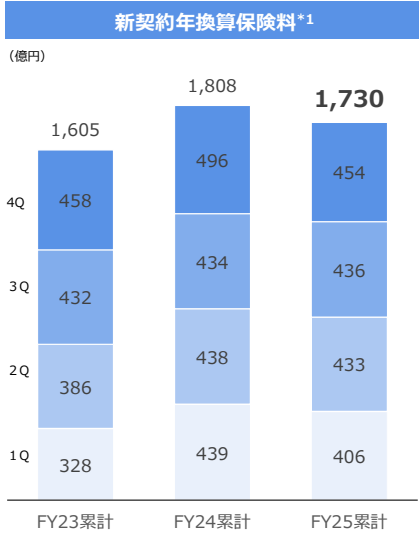
- (-) ソニー生命における市況影響による利益の剥落*2
- (+) ソニー生命における財務基盤強化に向けた債券売却損の縮小

*1: 保有状況が一定であると仮定
*2: 市況影響については、2026年3月末時点の水準から大きな変動が生じないことを前提としている

- ・ 次に、通期業績見通しについてご説明します。
- ・ 当社はこれまでIFRSに基づき資本市場とコミュニケーションしてきましたが、当年度第1四半期より会計基準をIFRSに変更します。
- ・ 2026年度通期のグループ連結修正純利益の見通しは、前年度から4%増となる1,100億円としました。
- ・ 生命保険事業の修正純利益は、CSM償却額の増加とレボコストの減少を見込む一方で、損失要素の増加などを織り込み、前年度からほぼ横ばいとしました。
- ・ 損害保険事業、銀行事業については、前年度からそれぞれ13%、17%の増益を見込んでいます。
- ・ なお通期のグループ連結税引前利益については、債券売却の影響を織り込み200億円の損失となる見通しです。
- ・ それではここから各事業の概況説明に移ります。

ソニー生命 | 2025年度 事業概況

- 新契約年換算保険料は2025年度累計で前年同期比減少したものの、高水準を維持
- 年度末の保険前提変更の影響があったものの、新契約CSMの着実な積み上げによりCSM残高は前年度末並みの水準を維持



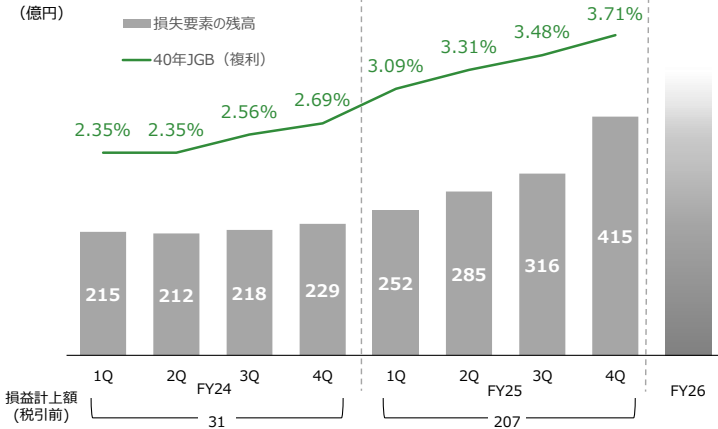
*1: 個人保険と個人年金保険の合計 (次頁以降も同じ)

- 最初に、ソニー生命についてです。
- 2025年度累計の新契約年換算保険料は1,730億円と、過去最高を記録した2024年度実績には届かなかったものの、高い水準を維持しています。
- 前年度比では、市況変動の影響もあり変額個人年金保険SOVANIの減少が大きかった一方で、ライフプランナーチャンネルでの法人向け変額定期や個人向け収入保障が増加しました。
- 2025年度累計の新契約CSMは3,187億円、年度末のCSM残高は2兆559億円となりました。
- 新契約CSMの商品別構成では、CSM償却スピードの早い保障型商品の比率が高まっており、2025年度累計での比率は前年度から3ポイント増の45%、CSM償却額は5%増の1,577億円となりました。

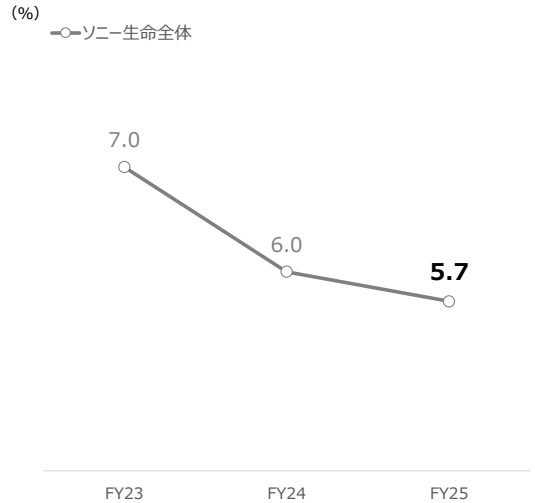
ソニー生命 | 損失要素及び解約・失効率

- 過去の低金利下に獲得した契約において、不利契約となっている契約群が増加
- 解約・失効率は想定範囲内で推移し、前年度から改善

円建保険 損失要素 累積残高



解約・失効率



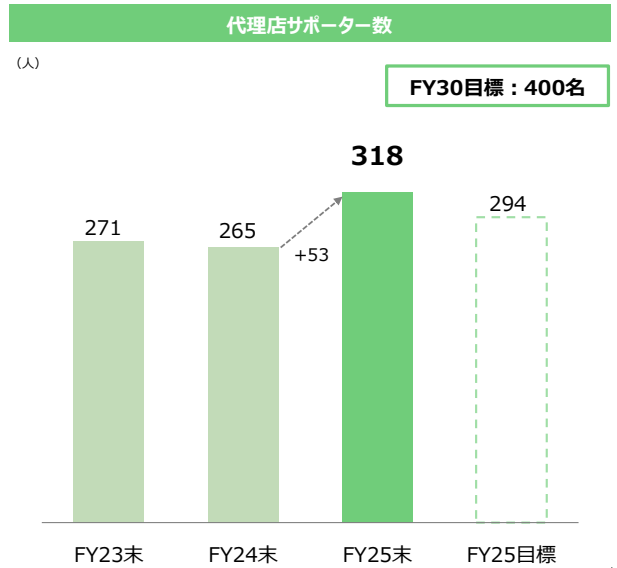
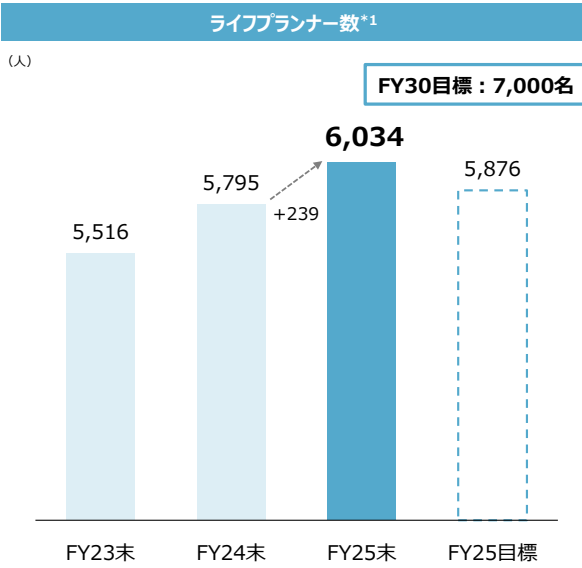
金利要因 金利上昇に伴う履行CFの再見積り	行動要因(解約) 一部契約群で解約率上昇	商品特性 過去(2000年~2010年代前半)の低金利期販売契約
---------------------------------	--------------------------------	--

注：解約・失効率は契約高の減額又は増額、並びに復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率

- 次に、損失要素についてです。
- 金利上昇などを踏まえ保険負債の再測定を行った結果、低金利下であった2000年から2010年代前半に販売した保険商品の一部について、CSMが枯渇しIFRS会計上の不利契約となっている契約群が増加しました。
- 金利影響に加え、ライフステージに合わせた顧客コードの変化などにより、これらの契約群において解約や乗換えが一定程度生じ解約率が上昇したことで、損失要素が増加する傾向が見られており、この損益影響を2026年度の通期見通しに織り込みました。
- このように、一部の契約群における会計損益への影響はありますが、事業全体での解約率は想定範囲内で推移しており、2025年度の解約・失効率は、前年度比0.3ポイント低い5.7%となりました。
- 引き続き、法人向け保障を中心に新契約獲得を強化していくことで、収益性の向上や商品ミックスの改善を進めていきます。

ソニー生命 | 販売チャネルの状況

- ライフプランナーチャンネル・代理店チャンネルの陣容は拡大



*1：ソニーライフ・コミュニケーションズ所属のライフプランナーを含む

- ライフプランナー、代理店、両チャンネルの陣容については着実に拡大しており、2025年度末のライフプランナー数は期初の目標を上回る6,000名超に達しています。

ソニー生命 | お客さま確認の実施

- 2026年4月24日の公表以降、既にお申し出頂いているお客さま、及び専属代理店のお客さまを先行してお客さま確認を実施
- 5月末には申し出のあった約30名のお客さまに対する確認状況及び今後のスケジュールを中心に進捗確認を公表予定

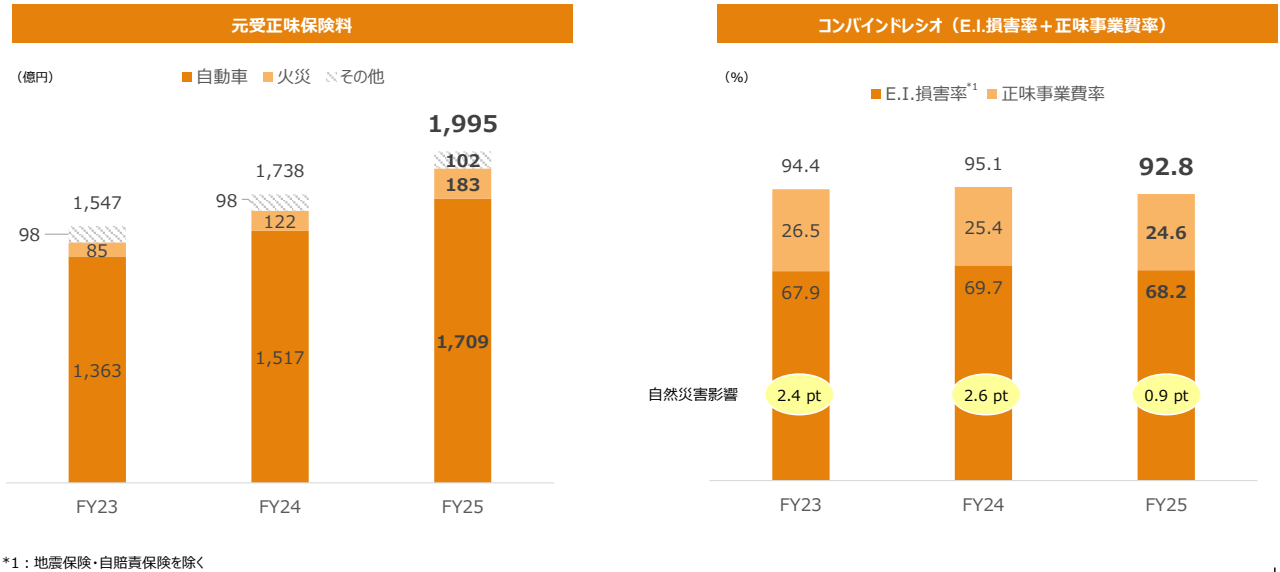
これまでの公表経緯及びお客さま確認の実施スケジュール

- 1月14日 「専属代理店の保険募集人による不正事案」公表
(約30名のお客さまからお申し出)
- 4月24日 「不正事案の未然防止・早期発見に向けた取組み」公表
- 4月28日 専属代理店のお客さまに対する確認開始
- 4月30日 保険業法128条に基づく報告徴求命令を受領
- 5月末 営業社員が担当するお客さまに対する確認開始 (予定)
- 5月末 「お客さま確認の進捗状況」公表 (予定)

- ここで、ソニー生命における不正事案の未然防止・早期発見に向けた取り組みについてお話しします。
- 去る4月24日の公表時点で約30名のお客さまより金銭に係る不適切行為の疑いがあるとお申し出を頂いており、その確認の進捗状況につき5月末に公表する予定です。
- 当社として事態を重く受け止め、4月末からのソニー生命の専属代理店のお客さま向けを皮切りに、ソニー生命社員が担当するすべてのお客さまに対し、ご契約状況や金銭に関する不審な点がないかの確認を段階的に進めていきます。
- この確認の時間軸と進捗及びその結果を踏まえた対策などについても、今後適宜開示してまいります。
- この取り組みによる連結業績への影響は現時点では未定であり、今回お示しする通期見通しには織り込んでいません。
- なお、現時点までで、保険商品の販売や解約の動向に大きな変化はありません。

ソニー損保 | 2025年度 業容 (J-GAAP)

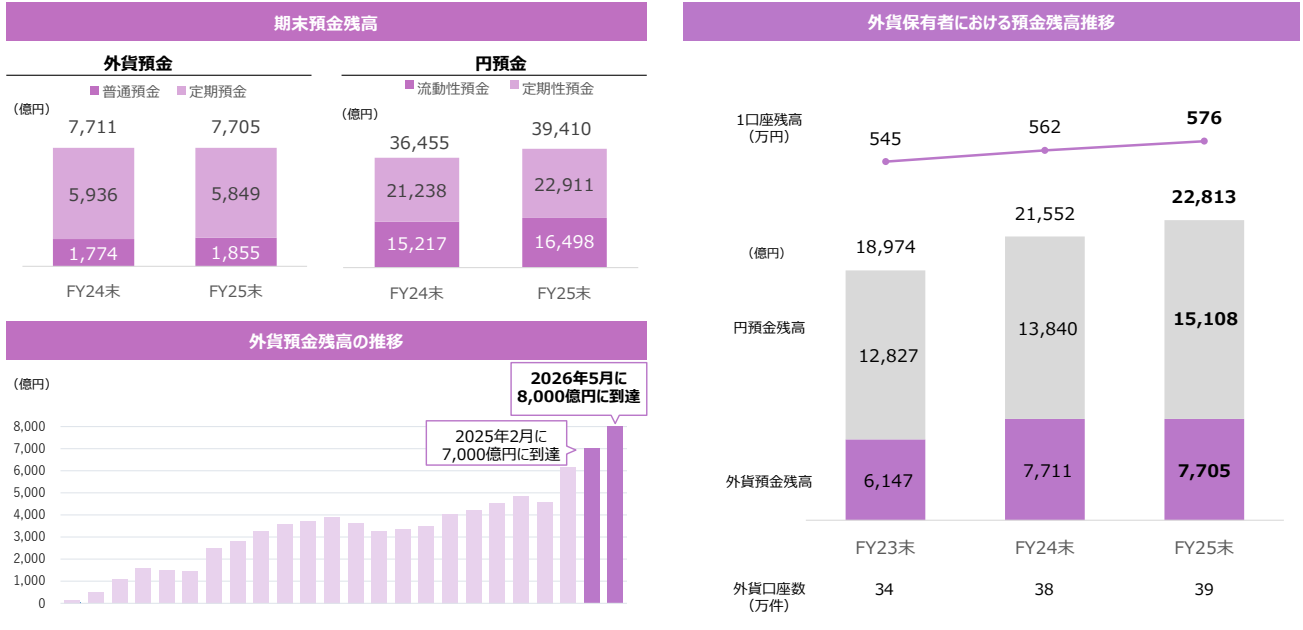
- 自動車保険を中心に元受正味保険料は前年度比で増加
- コンバインドレシオは自然災害の減少による損害率の低下と事業費コントロールの進展により前年度を下回り、92.8%に改善



- 次に、ソニー損保についてです。
- 2025年度通期の元受正味保険料は前年度比15%増の1,995億円、損害率低下と事業費コントロールによりコンバインドレシオは2ポイント改善の93%と、トップラインと利益の成長が着実に進んでいます。
- 自動車保険では、2024年7月から2026年1月まで半年毎に料率改定を実施していますが、既契約の継続率は90%超と高い水準を維持、顧客対応品質についても引き続き業界トップ水準の高い外部評価を獲得しています。
- 2018年度に販売を開始したインターネット専用火災保険についても、元受正味保険料が前年度比49%増となるなど、業容が順調に拡大しています。
- 顧客の価格感応度の高まりや代理店モデルからのシフトなどを追い風に、ダイレクト型自動車保険の市場は着実な成長が見込まれる中、ソニー損保はトップシェアの確保と収益性を伴うトップライン成長を両立できており、今後もさらなる事業成長を目指します。

ソニー銀行 | 2025年度業容 (預金残高/J-GAAP)

- 外貨預金残高は、円安を背景とした利益確定売却（円預金への振替）などによりFY24末比でわずかに減少したものの、引き続き高水準を維持

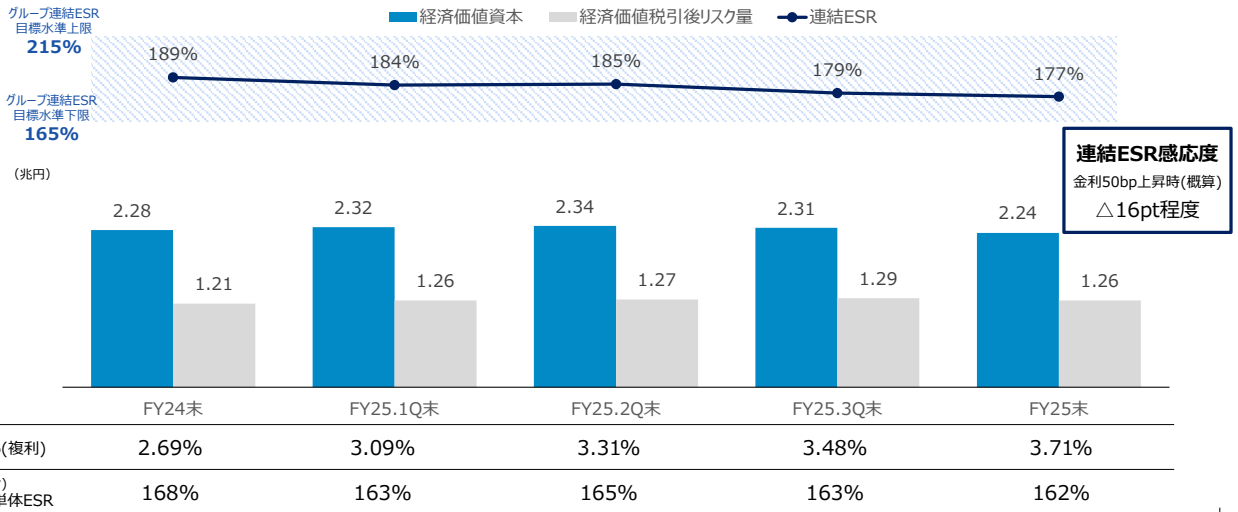


- 次に、ソニー銀行についてです。
- 2025年度末の円預金残高は、前年度末比8%増の3.9兆円となりました。
- 外貨預金は微減の7,700億円となりましたが、外貨保有顧客の円預金を含む預金残高は6%増の2.2兆円となっています。
- 2025年度末にかけての円安進行により外貨の売却が増加しましたが、売却資金の大部分はソニー銀行の円預金として滞留しています。
- 足元では4月末からの円高を受け、5月初には外貨預金残高が8,000億円に達しました。
- ソニー銀行の顧客による外貨の購入・売却は年間でそれぞれ1兆円を超えており、このような外貨を起点とした資金循環と良質な顧客基盤を背景に、安定した利鞘を確保できています。
- 当年度からは、昨年5月より稼働したクラウド基盤の新勘定系システムの特徴を活かし、ソニーFG向けBaaSを含む、新商品やサービスを順次投入していく計画です。

グループ連結ESRの推移

- 2025年度第3四半期末から更に金利が上昇したものの、財務改善施策の効果や新契約の積上げなどにより、2025年度末の連結ESRは177%
- 2025年度累計の債券売却額は、前年度から1,000億円増の約2,300億円

グループ連結ESR（経済価値資本^{*1}/経済価値税引後リスク量）



*1: 劣後債務を含む (次項以降も同じ)

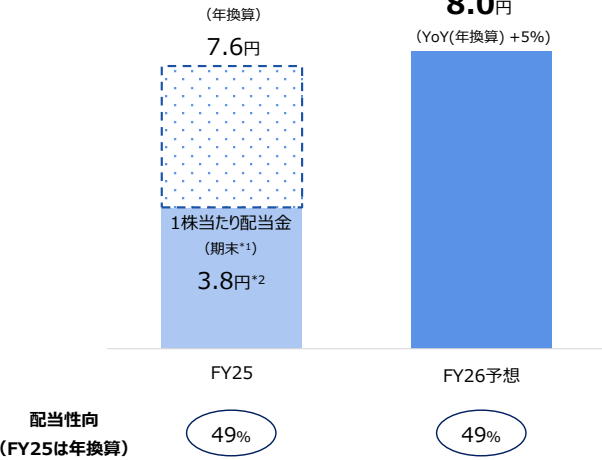
12

- 2025年度末のグループ連結ESRは、第3四半期末から2ポイント低下の177%となりました。
- 第4四半期ではさらに金利が上昇したものの、債券の追加売却約830億円を含む施策の効果と新契約の積上げにより、目標レンジ内でコントロールできています。
- 2025年度累計での債券売却総額は、前年度から1,000億円増の約2,300億円となりました。

株主還元

- 2025年度は1株当たり3.8円の期末配当を実施。FY26は中間・期末合計で1株当たり8.0円の配当を予定

1株当たり配当金



株主還元の基本方針

- 配当を最優先
- 1株当たり年間配当額の減額は原則行わず、安定的な配当の成長を目指す
- IFRS修正純利益 × 配当性向40~50%を目安とする

配当

- FY25期末配当は、1株当たり配当金**3.8円** (半期分)
- FY26は中間4.0円・期末4.0円の年2回配当を計画

自己株式取得

- 資本水準と成長投資のバランスを考慮し、実行する方針
- FY25は**698億円**を実施済み^{*3}
(上場後のSFGI株式の需給状況に対する影響の緩和及び資本効率の向上を図ることを目的とする)

*1：ソニーグループ株式会社による当社のパーシャル・スピノフの効力発生日が2025年10月1日であることから、2025年度は半期分の支払いを予定

*2：配当総額は256億円

*3：取得枠は1,000億円を設定。2025年9月29日～2026年8月8日。投資機会や市場環境等により、上記の自己株式取得の一部又は全部が行われない可能性もあります

- 2025年度の期末配当金は1株当たり3.8円、年換算ベースでは7.6円と、前回お示した内容から変更はありません。
- 2026年度の配当金は年間8.0円を見込んでおり、前年度からの1株あたり配当金額の成長率は年換算ベースで5%となります。
- 株主還元は配当を重視し、今後も安定的な増配を目指すという方針に変更はありません。



- 最後に、今回の決算を総括します。
- ソニー生命においては、今後の利益成長や商品ミックスの改善に向け、成長ドライバーである法人向け保障の貢献が着実に拡大しています。
- 一方で、金利上昇や、一部の契約群での解約の影響などによるCSMの成長鈍化や損失要素の発生は、利益の成長を一定程度下押しする構造にあり、本日お示した2026年度のグループ連結修正純利益の見通しは1,100億円と、本中期経営計画の目標として昨年5月にお示した1,250億円からは引き下げる形となりました。
- 当年度は、2027年度から始まる次期中計を策定する重要な年度でもあります。
- 次期中計期間において、中核であるソニー生命が中長期的な利益成長の軌道に回帰できるよう、事業戦略と財務施策の策定・実行の検討を進めていきます。
- 私からの説明は以上です。

ソニー生命 | 不正事案の未然防止・早期発見に向けた取組み

2017年度

①

**不正の手口に利用され
やすいお取扱の変更**

- 紙帳票での申し込み手続を廃止（ペーパーレス申込の原則化）
- 本人確認強化や第三者口座の指定不可等の各種手続きの見直し
- 契約成立を取り止める場合、お客さまの署名を必須化

②

**ガバナンス態勢の強化
／組織風土・カルチャー
の醸成**

- コンプライアンスに専門的な知見を有する社外取締役の招聘
- 金銭授受等の禁止行為及び厳格な懲罰を行う旨の明示（社員就業規則の改定）
- 「コンプライアンス・リスク管理における原理原則」の制定、各種研修・ディスカッションの充実

2018年度

③

内部管理態勢の強化

- 1線で営業管理職と共に内部管理を実践する品質管理担当者を配置
- 1線の活動をモニタリングする専担本部の新設
- コンプライアンスオフィサーの全国の支社・代理店拠点への配置

④

**営業社員の各種制度等
の見直し**

- 営業管理職・ライフプランナー報酬制度に品質を多面的に評価する指標を追加
- 第三者機関による経歴申告確認及び本社専門面接官による面接の導入
- 報酬制度の異なる複数キャリアパスの整備

2024年度

⑤

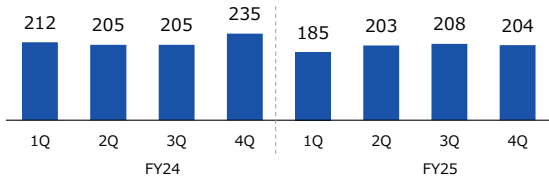
**お客さまと営業社員の
「密室化」の回避**

- お客さまに注意喚起を行う「権限明示」プロセスを、申し込み時に必須化
- 本社からの定期的なアフターフォローコールの実施（含、金銭取扱に関する注意喚起）
- 共同保全活動（複数担当制）の一層の推進

ソニー生命 | 新契約年換算保険料の内訳

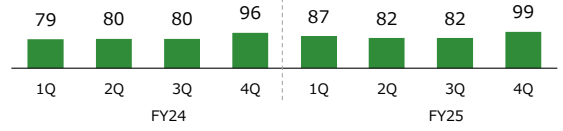
LP・個人

(億円)



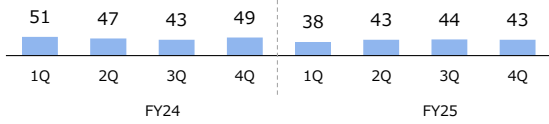
LP・法人

(億円)



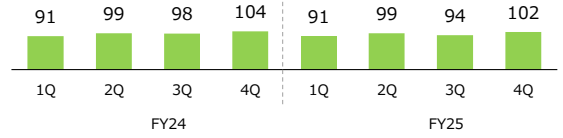
代理店・個人

(億円)



代理店・法人

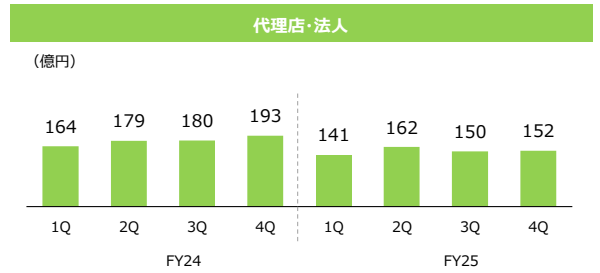
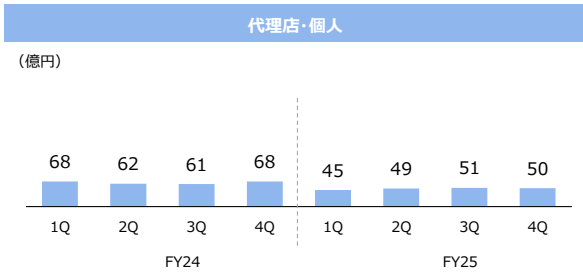
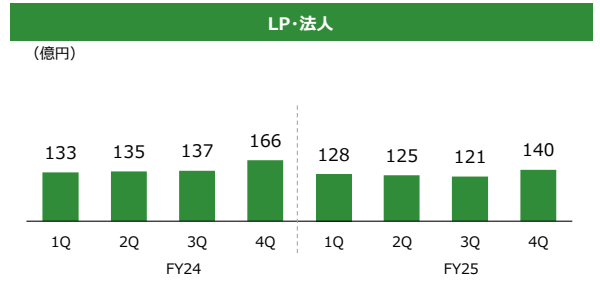
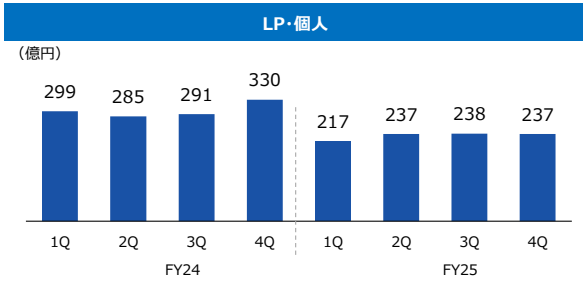
(億円)



注1：チャネル別・ターゲット顧客別の新契約年換算保険料は、新契約年換算保険料をLPチャネルと代理店チャネル、個人顧客と法人顧客での販売実績の内部管理数値にて按分。
新契約年換算保険料の合計値（P6）には、上記チャネルには含まれないその他チャネルを含む

ソニー生命 | IFRS新契約価値（税引後）の内訳

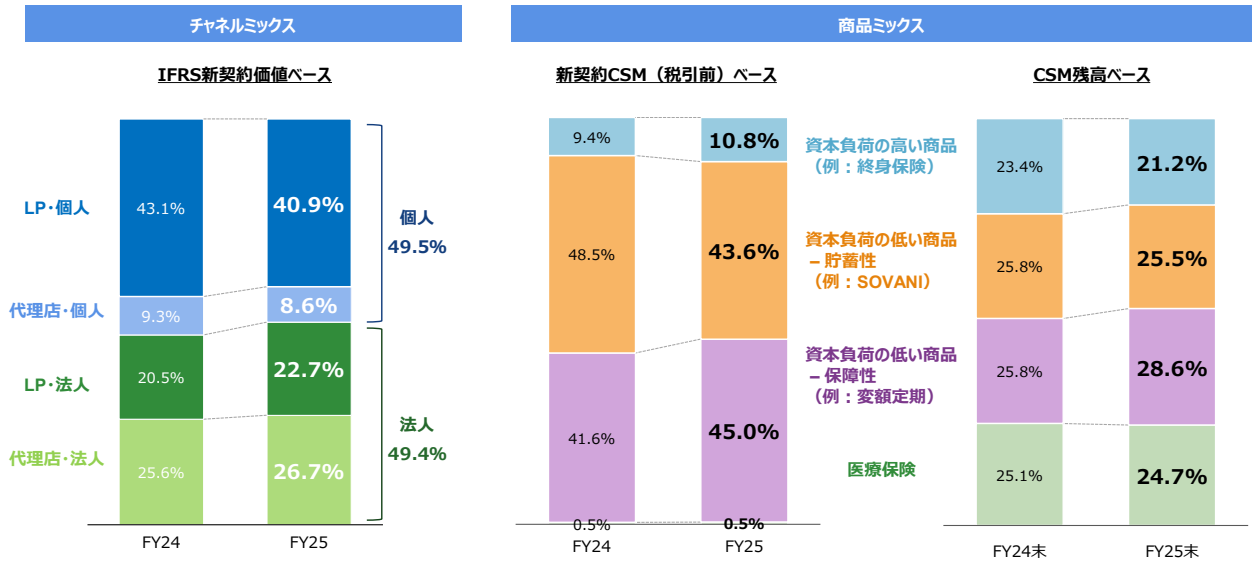
- 2024年度末の保険前提の見直しの影響により、2025年度は前年度比で減少



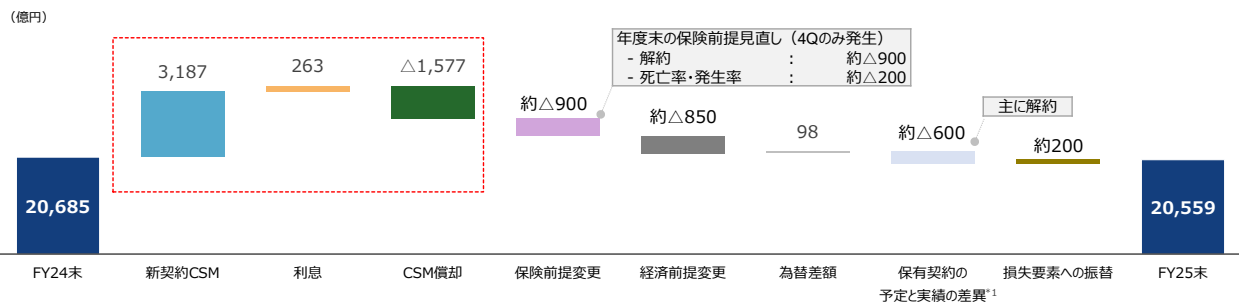
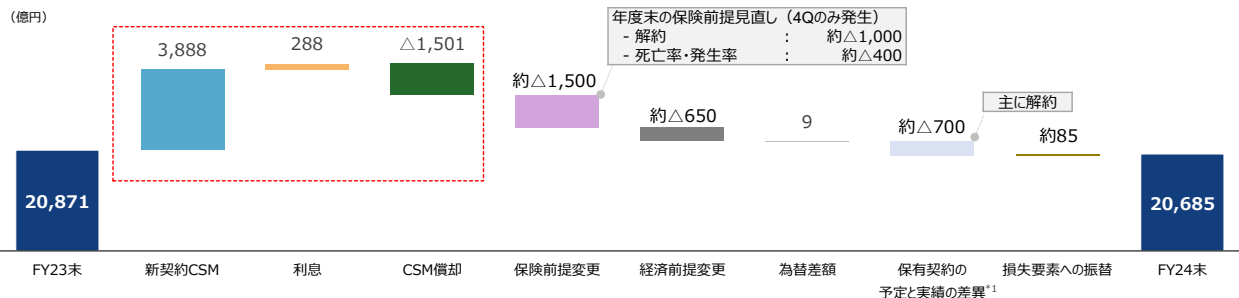
注1：IFRS新契約価値はIFRSに基づく新契約CSM+新契約損失要素でIFRS新契約価値（税引前）を算定し、ソニー生命の実効税率を使用し税引後の数値を算定。特段の記載がない限りIFRS新契約価値は税引後の数値を記載。
 チャンネル別・ターゲット顧客別のIFRS新契約価値は、販売商品毎の新契約年換算保険料をLPチャネルと代理店チャネル、個人顧客と法人顧客での販売実績に分け、その割合で販売商品毎のIFRS新契約価値を按分し、チャネル別・ターゲット顧客別に足し上げることで算定。
 FY24実績は再保険CSMを含め、LPチャネルからソニーライフ・コミュニケーションズ分を除外し、2025年5月29日金融Investor Dayにて開示した数値を修正して再表示（次頁以降も同じ）

ソニー生命 | チャンネル・商品ミックス

- 法人向け販売の比率が上昇
- 商品ミックスについても、法人向けの変額定期保険などのCSM償却ベースの速い保障性商品へのシフトが進んでいる



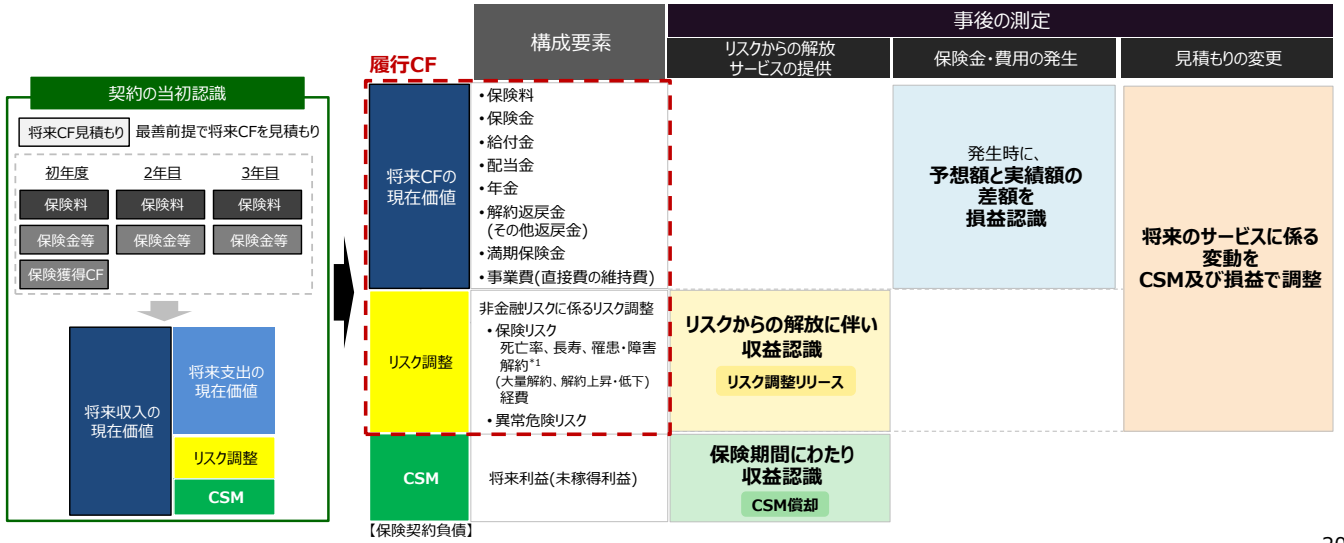
ソニー生命単体の税引前CSM変動内訳 (IFRS 会計基準)



注1: 再保険CSMは含まない
 注2: 2025年度第2四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度の一部数値を修正のうえ再表示
 *1: 当期の解約等の実績が期初の想定と乖離したことにより、将来に見込まれていた利益が増減した影響

保険負債の構成要素と事後測定

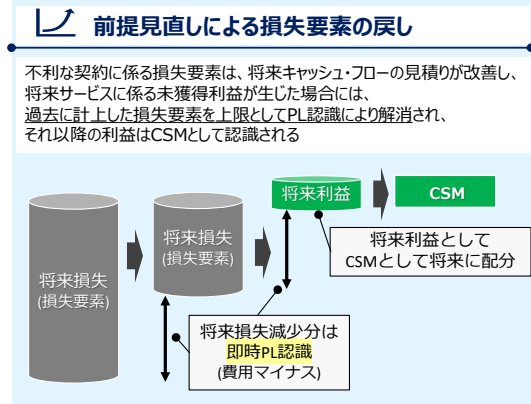
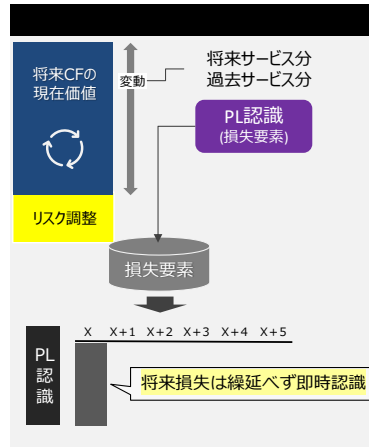
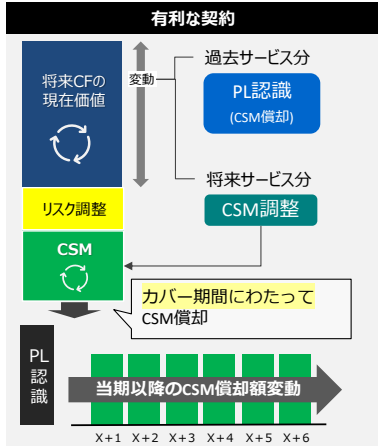
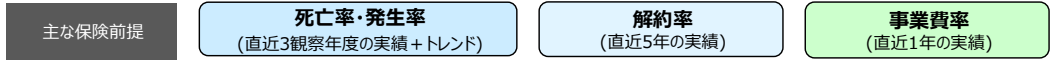
- IFRS会計基準では、保険契約の契約グループ毎に「履行キャッシュ・フロー（将来キャッシュ・フローの現在価値及びリスク調整）」を測定し、差額をCSMとして計上。
- 履行キャッシュ・フローは当初認識以降の仮定の変動を反映した最新の情報を用いて、見積もりの変更がされる。
- 履行キャッシュ・フローの見積もりの変更による変動は、CSM及び損益で認識される。



* 1 : 契約グループ毎の直近5年の実績+動的解約(過去実績又は業界実務を参考)を反映

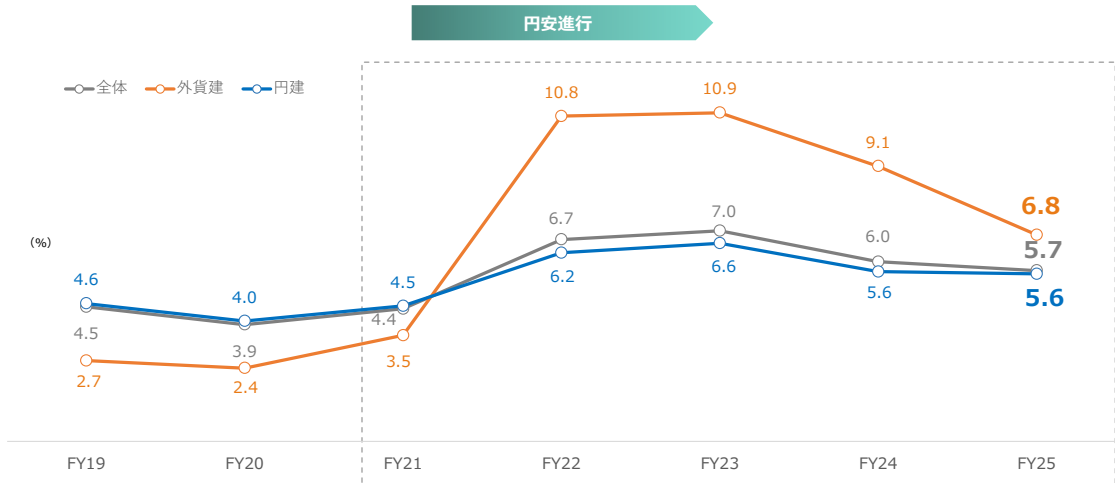
保険前提見直しの考え方

- 保険前提見直しとは、保険契約の測定に用いる将来キャッシュ・フローの見積り前提（死亡率、解約率、事業費率等）について、報告日時点で利用可能な最新の実績及び将来見通しを反映し、見積りを更新すること
- IFRS第17号は、固定された前提を維持するのではなく、常に「報告日時点の最良情報」を反映することが基本原則であり、将来キャッシュ・フローは各報告期間において再見積りすることが求められている



ソニー生命 | 解約・失効率

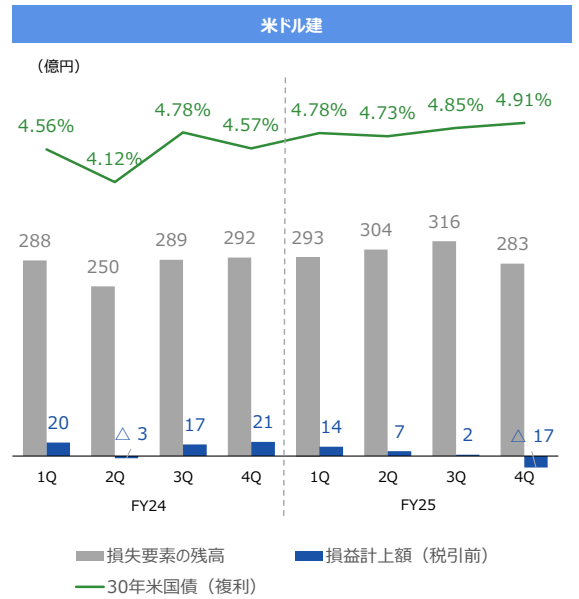
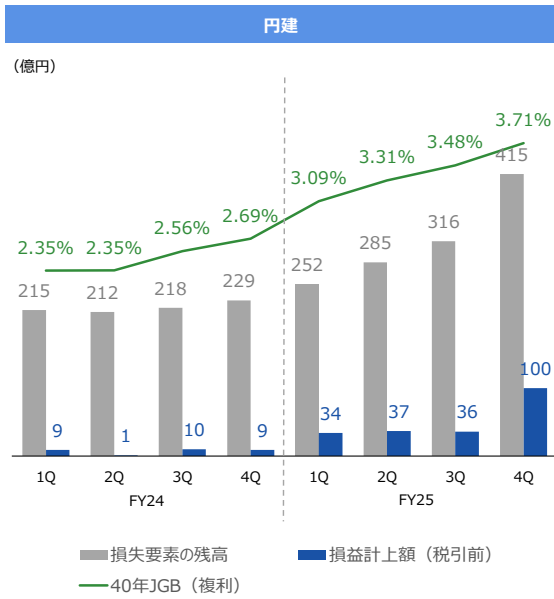
- 急速な円安進行や新商品発売・料率改定などにより、FY22からFY23にかけて解約・失効率が増加したものの、その後は低下傾向
- 足元の解約・失効率は落ち着いており、事業活動の状況は引き続き堅調



40年JGB (複利)	0.44%	0.69%	0.95%	1.39%	1.94%	2.69%	3.71%
ドル/円	108.83	110.71	122.39	133.53	151.41	149.52	159.88

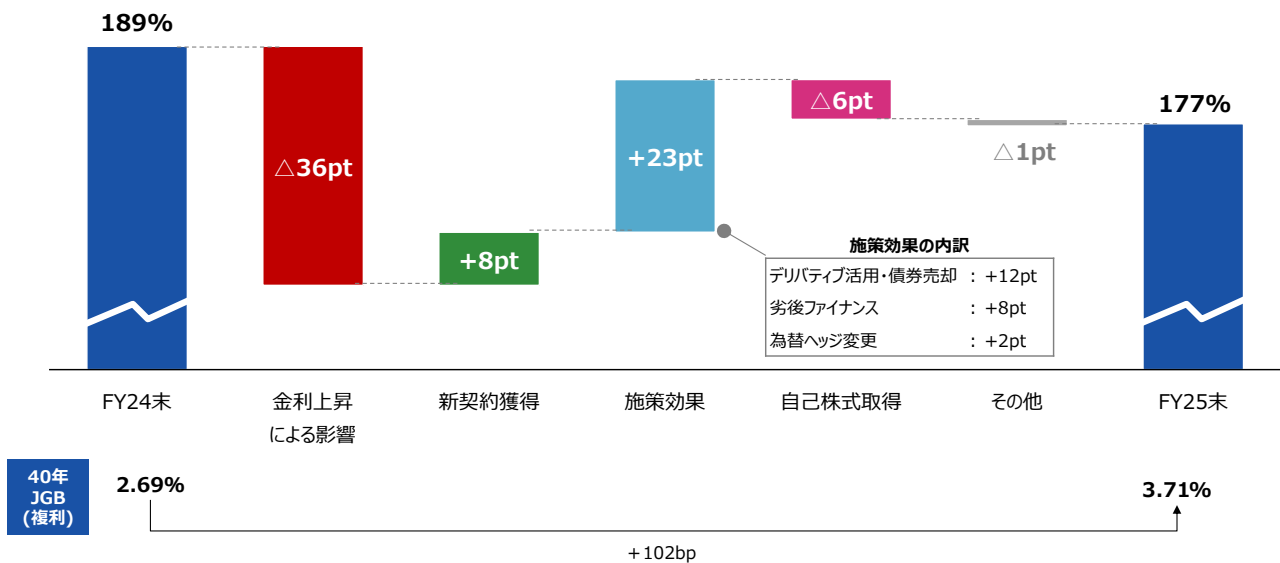
注：解約・失効率は契約高の減額又は増額、並びに復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。外貨建保険、円建の内訳数字はソニーライフ・ウィズ生命を除く。外貨建保険は円換算後の値

ソニー生命 | 損失要素の推移



グループ連結ESRの変動要因

- これまでに取り組んだ施策や新契約の獲得によって、金利上昇によるESRの低下幅を抑制

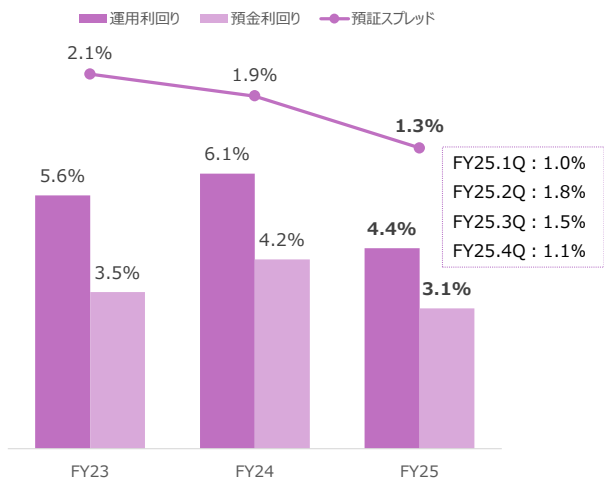


注1: 変動額の内訳は概算値

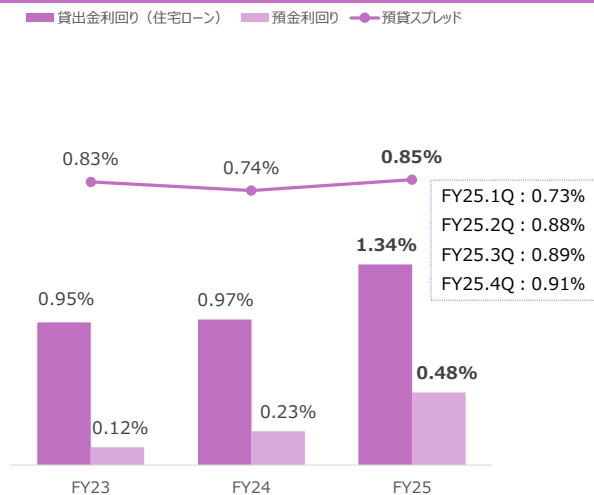
ソニー銀行 | 2025年度業容（スプレッド/J-GAAP）

- 外貨事業では、米国の政策金利引き下げに伴う金利低下の影響を受けたものの、適切な預金金利運営により円貨対比で高水準の利鞘を確保
- 円貨事業では、日銀の政策金利引き上げに伴う金利上昇を受け、住宅ローン金利・預金金利を見直し、利鞘は改善

預証スプレッド（外貨）



預貸スプレッド（円貨）



修正純利益の定義（FY22以降）

- 当期純利益から市況変動や一時的な要因等を除き、ベースとなる利益の成長を測定する指標として、「修正純利益」を導入

ソニーFG連結 修正純利益		SFGI連結当期純利益（IFRS会計基準） - 調整項目
調整項目 (全て税引後)	生命保険事業	投資損益のうち変額保険関連損益*1・為替差額（除くヘッジコスト相当分等*2）
		保険金融損益のうち変額保険関連損益*3・為替差額
		有価証券の売却損益
		その他一過性の損益
	損害保険事業、 銀行事業、 その他	一過性の損益

*1：変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの

*2：ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息（期首金利に基づく）を含む

*3：変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響

当期純利益から修正純利益への調整表

(億円)

	FY24累計	FY25累計
税引前利益 (IFRS会計基準)	1,305	△114
税引後当期純利益 (IFRS会計基準)	741	△86
生命保険事業関連調整項目	△128	1,138
投資損益のうち変額保険関連損益*1・為替差額 (除くヘッジコスト相当分等*2)	124	△1,932
保険金融損益のうち変額保険関連損益*3・為替差額	△275	1,681
有価証券の売却損益	39	1,827
その他一過性の損益	△66	-
上記に係る税効果	49	△439
損害保険事業関連調整項目	-	-
銀行事業関連調整項目	-	-
その他調整項目	-	-
調整項目合計	△128	1,138
税引後修正純利益	613	1,051

*1: 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの

*2: ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト、純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定 (FVO指定) した債券から生じる当期の経過利息 (期首金利に基づく) を含む

*3: 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金利リスクの変動による影響

*4: 2025年度第2四半期よりIFRS会計基準に基づき財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度の一部数値を修正のうえ再表示

セグメント情報

単位：百万円	FY24.1Q	FY24.2Q 累計	FY24.3Q 累計	FY24.4Q 累計	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計
営業収益 (IFRS・連結)	226,421	456,740	692,694	925,311	242,622	494,856	753,879	1,017,555
生命保険事業	166,634	333,603	503,683	670,323	170,756	344,513	523,272	705,814
損害保険事業	37,978	77,570	118,184	158,299	42,687	88,467	135,013	182,654
銀行事業	19,508	39,714	61,640	86,062	25,730	54,961	85,083	117,006
税引前利益 (IFRS・連結)	29,976	95,981	143,027	130,526	-34,105	25,403	60,521	-11,450
生命保険事業	25,370	83,035	125,681	112,169	-41,192	11,407	38,121	-41,822
損害保険事業	1,898	3,730	4,643	4,435	4,859	6,289	9,738	14,881
銀行事業	3,604	10,545	14,909	16,397	2,765	8,820	14,460	18,350
修正純利益 (連結)	20,056	48,272	69,065	61,337	20,368	45,934	76,052	105,128
生命保険事業	16,770	39,407	57,634	47,976	15,689	36,696	61,159	84,847
損害保険事業	1,339	2,628	3,277	3,075	3,489	4,655	7,174	10,681
銀行事業	2,422	7,103	10,004	12,413	1,862	5,861	9,740	12,846

注1：2025年度第2四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度以降の一部数値を修正のうえ再表示

ソニー生命 | 保険サービス損益の内訳

	FY24.1Q	FY24.2Q 累計	FY24.3Q 累計	FY24.4Q 累計	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計
単位：百万円								
保険サービス損益	41,638	90,555	132,536	168,056	40,637	84,032	129,679	170,858
保険収益	116,182	233,284	352,732	469,606	120,895	243,720	370,677	501,624
CSM ^{*1} 償却額	39,238	78,863	118,323	150,138	38,778	77,826	118,316	157,728
リスク調整の解放	6,770	13,695	20,805	28,053	7,800	15,792	23,976	32,286
予定保険金	28,093	56,682	85,342	114,418	29,283	58,554	88,546	118,116
予定契約維持管理費	13,391	27,445	41,870	56,777	15,323	31,250	47,809	64,956
保険獲得CF ^{*2} の回収	28,296	56,639	85,760	118,314	29,907	60,638	92,534	127,385
その他	391	-41	630	1,903	-198	-343	-505	1,149
保険サービス費用	-74,419	-142,145	-219,609	-301,240	-80,267	-159,198	-240,647	-329,334
発生保険金	-28,920	-53,990	-85,384	-113,991	-29,515	-57,007	-84,957	-114,700
契約維持管理費	-13,744	-27,950	-42,287	-57,444	-16,029	-32,338	-49,443	-64,102
保険獲得CF ^{*2} の償却額	-28,296	-56,639	-85,760	-118,314	-29,907	-60,638	-92,534	-127,385
損失要素	-3,143	-2,694	-5,427	-8,565	-4,795	-9,300	-13,210	-20,117
その他	-314	-870	-749	-2,924	-19	86	-502	-3,029
再保険収益及び費用	-125	-583	-587	-309	9	-488	-350	-1,431

*1：契約上のサービスマージン

*2：保険契約の取得に直接起因する費用からのキャッシュフロー

ソニー生命 | 税引前利益の内訳

単位：百万円	FY24.1Q	FY24.2Q 累計	FY24.3Q 累計	FY24.4Q 累計	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計
税引前利益	25,619	83,583	126,479	114,619	-40,908	11,903	38,813	-40,926
保険サービス損益	41,638	90,555	132,536	168,056	40,637	84,032	129,679	170,858
金融損益	-7,237	10,723	20,630	-14,344	-71,425	-51,998	-60,064	-172,103
投資収益	254,094	-8,656	509,423	137,973	4,149	261,540	620,494	172,944
その他の包括利益を通じて公正価値で測定することが要求される金融資産から生じる金利収益	45,442	90,435	136,289	180,782	44,082	89,147	135,181	180,611
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じる純損益に認識した正味利得	125,079	3,162	327,340	10,103	116,509	289,099	525,530	75,642
為替差額	92,568	-85,756	70,407	-16,411	-48,071	-3,512	80,186	120,171
その他	-8,995	-16,499	-24,613	-36,501	-108,371	-113,194	-120,403	-203,481
うち 有価証券売却損益	628	938	1,098	-3,928	-102,139	-102,139	-104,109	-182,799
うち レボコスト	-9,699	-17,792	-26,292	-33,597	-6,997	-12,483	-18,140	-22,387
保険金融収益又は費用	-261,353	19,347	-488,854	-152,387	-75,595	-313,598	-693,796	-365,854
発生計上した利息	-47,947	-96,142	-144,603	-193,247	-48,023	-96,454	-145,494	-195,302
変額保険・変額個人年金に係る基礎となる項目の変動並びに金利及びその他金融リスクの変動による影響	-118,262	21,118	-284,288	6,581	-80,543	-228,563	-475,959	-62,203
為替差額	-98,531	87,594	-70,009	20,958	49,260	4,117	-83,022	-122,338
その他	3,388	6,776	10,046	13,319	3,711	7,302	10,680	13,989
再保険金融収益又は費用	21	32	61	69	20	58	13,236	20,806
その他損益	-8,781	-17,695	-26,687	-39,092	-10,120	-20,130	-30,801	-39,680
販売費及び一般管理費 ^{*1}	-12,836	-25,703	-38,381	-53,549	-14,226	-28,487	-43,121	-53,908
その他	4,055	8,008	11,694	14,456	4,106	8,357	12,320	14,228

*1：保険契約の履行に直接起因しない間接費

ソニー生命 | 貸借対照表

単位：百万円	25.3末	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末
資産	15,223,119	15,214,213	15,607,081	15,916,146	15,328,304
円債（定額）	6,498,122	6,264,322	6,061,316	5,788,095	5,507,401
米ドル建て債券	1,288,694	1,155,141	1,224,303	1,258,579	1,281,444
特別勘定	5,083,508	5,264,347	5,557,209	5,932,356	5,554,049
円債（変額）	753,863	713,205	690,569	610,603	578,025
リスクアセット	150,271	159,882	169,081	183,791	193,463
その他資産	1,448,658	1,657,313	1,904,600	2,142,719	2,213,920
負債・純資産	15,223,119	15,214,213	15,607,081	15,916,146	15,328,304
円建て定額保険	4,925,736	4,681,175	4,484,163	4,265,579	4,192,253
円レボ	290,988	312,608	659,656	691,680	654,797
米ドル建て保険	1,097,134	1,072,245	1,145,053	1,216,592	1,265,448
ドルレボ	633,816	574,145	400,435	392,373	220,447
円建て変額保険	3,994,399	4,137,823	4,359,614	4,701,389	4,444,724
特別勘定の運用成果として契約者に帰属する部分	5,138,819	5,434,450	5,731,964	6,121,589	5,806,420
最低保証として会社に帰属する部分・事業費収支	-1,144,419	-1,296,626	-1,372,349	-1,420,199	-1,361,695
CSM 他	2,607,327	2,643,266	2,691,704	2,726,459	2,600,990
その他負債	964,213	1,059,613	1,118,735	1,262,981	1,353,442
純資産	709,501	733,335	747,718	659,089	596,200

注1：2025年度第2四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度以降の一部数値を修正のうえ再表示

ソニー生命 | CSM残高・包括資本 (IFRS 会計基準)

単位：百万円	24.6末	24.9末	24.12末	25.3末	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末
税引前CSM ^{*1}	2,103,319	2,141,819	2,193,393	2,068,513	2,067,445	2,097,692	2,133,443	2,055,961
新契約CSM	93,667	186,600	281,078	388,813	75,784	157,379	237,566	318,760
CSM償却額	-39,238	-78,863	-119,016	-150,138	-38,778	-77,826	-118,316	-157,728
その他	-38,232	-53,039	-55,792	-257,284	-38,074	-50,373	-54,319	-173,582
為替影響	9,665	-6,257	8,694	955	-3,668	-384	6,721	9,887
利息	7,026	14,152	21,415	28,869	6,255	12,704	19,412	26,392
前提変更の影響等	-54,923	-60,934	-85,903	-287,109	-40,661	-62,693	-80,453	-209,863

*1：再保険CSMは含まない

注1：2025年度第2四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度以降の一部数値を修正のうえ再表示

単位：百万円	24.6末	24.9末	24.12末	25.3末	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末
IFRS包括資本	2,283,100	2,449,761	2,412,878	2,179,357	2,202,376	2,238,438	2,180,956	2,060,811
純資産	769,005	907,807	833,307	709,501	733,335	747,718	659,089	596,200
税引後CSM	1,514,095	1,541,954	1,579,570	1,469,855	1,469,040	1,490,720	1,521,866	1,464,610

注1：2025年度第2四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度以降の一部数値を修正のうえ再表示

ソニー生命 | 保有契約・チャネル陣容

単位：百万円	24.6末	24.9末	24.12末	25.3末	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末
保有契約高 ^{*1,2}	68,253,261	68,798,451	70,958,548	71,974,008	73,184,620	74,808,508	76,410,122	77,308,784
保有契約年換算保険料 ^{*2}	1,235,525	1,242,538	1,277,836	1,297,483	1,313,682	1,337,919	1,363,827	1,385,196

*1：ソニー生命が保険契約者に対して提供する保障の総額

*2：個人保険と個人年金保険の合計

単位：百万円	FY24.1Q	FY24.2Q 累計	FY24.3Q 累計	FY24.4Q 累計	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計
新契約高 ^{*1,2}	2,680,025	5,410,066	8,151,874	11,188,308	2,591,184	5,446,379	8,184,901	10,939,149
新契約年換算保険料 ^{*2}	43,938	87,772	131,180	180,840	40,693	84,017	127,630	173,046

*1：年度始から各四半期末までに販売された保障の総額

*2：個人保険と個人年金保険の合計

単位：人	24.6末	24.9末	24.12末	25.3末	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末
ライフプランナー数	5,525	5,567	5,579	5,795	5,816	5,832	5,822	6,034
代理店サポーター数	259	260	260	265	299	313	317	318

ソニー損保 | 主要指標の推移

単位：百万円	FY24.1Q	FY24.2Q 累計	FY24.3Q 累計	FY24.4Q 累計	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計
元受正味保険料	43,041	84,701	127,717	173,896	48,897	96,618	146,661	199,523
E.I損害率*1	69.3%	69.6%	70.8%	69.7%	62.2%	67.8%	68.4%	68.2%
正味事業費率	24.5%	24.9%	25.2%	25.4%	24.5%	24.2%	24.1%	24.6%

*1：地震保険・自賠責保険を除く

ソニー銀行 | 主要指標の推移

単位：百万円、千口座	24.6末	24.9末	24.12末	25.3末	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末
住宅ローン残高 ^{*1}	3,595,208	3,648,342	3,650,864	3,651,762	3,646,394	3,617,289	3,582,304	3,550,309
円預金残高	3,267,977	3,279,973	3,434,691	3,645,597	3,715,127	3,800,697	3,863,579	3,941,023
外貨預金残高	639,773	657,083	673,045	771,160	724,614	736,272	733,665	770,544
顧客口座数	1,973	2,007	2,045	2,052	2,072	2,097	2,128	2,146

*1：数値は日本会計基準

日本会計基準 (J-GAAP)

連結業績ハイライト（日本会計基準）

経常収益 生命保険事業、損害保険事業及び銀行事業において増加した結果、2兆8,710億円(前年度比9.6%増)

経常利益 銀行事業において減益となったものの、生命保険事業及び損害保険事業において増益となった結果、845億円(前年度比88.4%増)

親会社株主に帰属する
当期純利益 554億円(前年度比29.6%減)

(1) 連結経営成績

(億円)

	FY24累計	FY25累計	前年度比	
経常収益	26,187	28,710	+2,523	+9.6%
経常利益	448	845	+396	+88.4%
当期純利益	787	554	△232	△29.6%

(2) 連結財政状態

(億円)

	25.3末	26.3末	前期末比	
総資産	233,709	238,071	+4,362	+1.9%
純資産	6,697	6,292	△404	△6.0%

セグメント別業績ハイライト（日本会計基準）

生命保険事業

経常収益は、為替差益及び再保険収入が増加したことにより、2兆5,350億円(前年度比9.4%増)

経常利益は、ALM(資産負債の総合管理)の考え方に基づきリバランスを目的とした債券売却に伴う一般勘定における有価証券売却損益の悪化があったものの、米ドル建終身保険の既契約ブロックにおける一部出再等による影響や、為替差損益等の市況の変動に伴う損益の改善等により、594億円(同188.2%増)

損害保険事業

経常収益は、主力の自動車保険を中心に正味収入保険料が堅調に増加したことにより、1,913億円(前年度比13.3%増)

経常利益は、自然災害の減少等により損害率が低下したことにより、125億円(同73.9%増)

銀行事業

貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金運用収益の増加があったものの、住宅ローン関連役務収益の減少や営業経費の増加により、経常収益は1,298億円(前年度比11.0%増)、経常利益は167億円(同11.5%減)

(億円)

		FY24累計	FY25累計	増減	増減率
生命保険事業	経常収益	23,170	25,350	+2,179	+9.4%
	経常利益	206	594	+387	+188.2%
損害保険事業	経常収益	1,688	1,913	+224	+13.3%
	経常利益	72	125	+53	+73.9%
銀行事業	経常収益	1,170	1,298	+128	+11.0%
	経常利益	188	167	△21	△11.5%
連結	経常収益	26,187	28,710	+2,523	+9.6%
	経常利益	448	845	+396	+88.4%